

# 近畿国立病院薬剤師会

会誌

Vol.78  
2024年5月

## 目 次

提言.....	2
国立循環器病研究センター(現:大阪医科薬科大学) 川端 一功	
薬剤部紹介.....	3
和歌山病院 渡辺 雄太	
新採用者紹介.....	5
2024 年度 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 参加報告.....	12
宇多野病院 大倉 あすか	
2024 年度 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 優秀賞受賞報告.....	13
近畿中央呼吸器センター 山口 絢香	
2024 年度 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 特別賞受賞報告.....	14
神戸医療センター 中村 優里	
能登半島沖地震医療班災害派遣について.....	15
東近江総合医療センター 澤村 忠輝	
令和 6 年能登半島地震 NHO 医療班活動に参加して.....	16
舞鶴医療センター 田村 憲昭	
災害医療に関する資格・認定について .....	19
姫路医療センター 飯沼 公英	
趣味のページ.....	21
近畿中央呼吸器センター 多方 実彩	
編集後記.....	22

## 提言

花は置かれたところで咲き誇る

大阪医科薬科大学 川端一功

国立循環器病研究センターを最後に定年退職し、縁あって母校に再就職して早1か月が経ちました。思い描いていた退職後の世界とは異なり、日々体力勝負のような生活ですが、学生たちに囲まれて元気をもらいながら、第2のキャンパスライフを楽しんでおります。

就職浪人しかけて飛び込んだ国循での無給レジデント(そんな言葉はありませんが)からスタートした国立での生活は文字通り波乱万丈でしたが、それでも無事に勤め上げることができたのは、多くの素晴らしい仲間たちに巡り合えたおかげと感謝しています。

タイトルの言葉は、もともとアメリカの神学者の詩の一部で、日本ではあるシスターのベストセラー本のタイトル「置かれたところで咲きなさい」として有名になった名言ですが、私はこの言葉を38年前に不遇の非常勤時代を過ごした岩屋分院(過去に淡路島にあったとても小さな療養所)勤務の時に、仲良しの歳の離れた事務官から教えられました。実はその当時、この言葉をすんなりと受け入れられたわけではなく、「そんなこと言われてもなあ・・・」というのが正直な気持ちだったのですが、歳を取ってその意味が少しわかったような気がします。

この英詩の原文を訳すと、「神様が置かれた場所で諦めず頑張って花を咲かせましょう。花を咲かせることは幸せに生きること、あなたの喜びが周りの人も幸せにできるから」となり、決して「その場所で我慢しなさい」という意味ではありません。

確かに、置かれる場所は自分の意志ではどうにもならない時もありますが、そこで何をするか、腐るのか最善を尽くすのかは自分の意志で決められるのです。最善を尽くして日々充実感を得て自らも成長することができ、周囲の信頼や感謝を得られるとしたらどうでしょう。

ただ、人生にはどうしても咲けない時期もあると思います。そんな時は、深く深く根を伸ばすことに専念して、大きな花を咲かす準備をしてください。

国立病院薬剤師会に所属するすべての先生が、いずれ大輪の花を咲かせられることを願っております。(写真の花は、退職の時に職場の先生方から頂いたもので、日々眺めながら老体に鞭打っております)



## 薬剤部紹介

独立行政法人国立病院機構 和歌山病院

<https://wakayama.hosp.go.jp>



### 【病院概要】

当院の所在する御坊医療圏は和歌山県の中央に位置し、「煙樹ヶ浜の松林」の中に立地しています。煙樹ヶ浜は太平洋を臨む日高川から4kmに渡る砂利浜であり、クロマツ原と呼ばれる最大幅 500mの大松原は、紀伊藩初代の徳川頼宣が防潮のために植林させたものです。ここから見る夕日は、「和歌山の朝日・夕陽 100 選」にも選ばれています。



### 【沿革】

当院は、昭和 19 年に「日本医療団延寿浜園」として創設され、「国立療養所延寿浜園」、「国立療養所和歌山病院」と経て、平成 16 年 4 月に「独立行政法人国立病院機構 和歌山病院」となり現在に至ります。平成 28 年 4 月に新病棟が開設され、同年 8 月にヘリポートが併設されました。令和 6 年 3 月には病棟再編が完了し、病床数は 260 床（一般 86 床、結核 15 床、重症心身障害児（者）159 床）となりました。標榜診療科は、呼吸器内科、呼吸器外科、脳神経内科、循環器内科、内科、外科、心臓血管外科、小児科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、皮膚科の 12 診療科です。

当院は、一般診療とセーフティネット医療を行っており、一般診療においては呼吸器内科、脳神経内科、胸部・血管外科系の疾患、及び放射線治療、セーフティネット医療においては重症心身障害、神経難病、結核に対する診療を行っています。セーフティネット医療では、県



内最大(159床)の重症心身障害児(者)病床を有し、入院のみならず短期入所や在宅支援等も行い、日常生活支援と医療的ケアの両面を提供しています。神経難病では、県内の神経難病ネットワークの基幹2施設の1つとして、在宅あるいは入院療養中の患者さんへの支援に取り組んでいます。また県より「在宅難病患者一時入院事業」の委託を受け、在宅で生活されている患者さんや家族をサポートしています。結核に関しては、県内唯一の結核病床を有し、近畿地区で初の拠点型結核支援センターを設置しています。県内各保健所の保健師を一堂に会したDOTS会議を毎月開催し、保健医療に対しても貢献しています。

#### 【薬剤部概要】

薬剤部スタッフは薬剤部長、調剤主任、薬務主任、薬剤師4名、薬剤助手2名の計9名で構成されています。チーム医療としてはNST、摂食嚥下、褥瘡、ICT、PCTに参画しており、結核や病棟の転倒転落カンファレンス、退院カンファレンスにも積極的に参加し、多職種との連携強化を図っています。また昨年度より、薬物の適正使用推進に向けて入院患者のポリファーマシー対策にも取り組み、症例検討のため薬剤部内でのカンファレンスを開始しました。令和6年4月からは、更なる安全な観血的処置への薬物治療支援のため、気管支鏡検査の目的で入院が決定した患者への外来面談を開始しています。これら対人業務の拡充のため、散薬調剤ロボットの最大利活用をはじめ、非薬剤師業務の薬剤助手へのタスクシフト・シェアを図り、業務の効率化を進めています。

最後に、今年度は診療報酬改定への対応をはじめ、病棟再編による後利用計画としての薬剤部・手術室の移設、電子カルテ更新に向けたワーキンググループ立ち上げ等、様々な課題に向き合っていくこととなります。これからも当院の理念である【職員一同は、患者さんの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」を目指します】をモットーに薬剤部一丸となって日々の業務に取り組んでいきます。

(文責:渡辺 雄太)



## 新採用者紹介

氏名：平川 理紗(ひらかわ りさ)

- 施設名:敦賀医療センター
- 出身大学:大阪大谷大学
- 座右の銘:よい花は後から
- 抱負:一つ一つ着実に頑張ります。

氏名：勝野 明歩(かつの あきほ)

- 施設名:東近江総合医療センター
- 出身大学:北里大学
- 座右の銘:笑う門には福来る
- 抱負:様々な職種の先生方とコミュニケーションを取り、患者さんに寄り添える薬剤師になれるよう精進いたします。

氏名：小邨 悠馬(こむら ゆうま)

- 施設名:東近江総合医療センター
- 出身大学:立命館大学
- 座右の銘:上善は水の如し
- 抱負:私の社会人としての抱負は、「できることはその日のうちにやる」ことです。仕事では、これから当分の間は、病院自体の事柄や業務内容を覚えることで精一杯になると思います。そんな中で早く慣れ、正確に業務をこなすにも、疑問点や分からないことはその日のうちに解決できるようにしていきます。しかしながら、疑問点が多く自分のキャパシティを超えることもあるかもしれませんが、優先順位をつけて、できるだけ次の日に持ち越さないようにしたいと思います。また、生活面でも社会人として、健康管理を怠らず、時間を有効活用しながら、社会人として過ごしていきたいです。

氏名：福岡 由布加(ふくおか ゆうか)

- 施設名:東近江総合医療センター
- 出身大学:摂南大学
- 座右の銘:去華就実
- 抱負:患者さんに最適な医療を届けられることが出来るよう何事も学ぶ姿勢で向き合い日々ステップアップできるよう努めます。

氏名： 渡邊 龍生(わたなべ たつき)

- 施設名：京都医療センター
- 出身大学：神戸学院大学
- 座右の銘：死ぬこと以外かすり傷
- 抱負：4月より京都医療センターに配属されました渡邊龍生と申します。1日でも早く患者さんや先輩方に認めていただけるように日々精進していきたいと思っています。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 井上 麻緒(いのうえ まお)

- 施設名：京都医療センター
- 出身大学：九州大学
- 座右の銘：ローマは一日にして成らず
- 抱負：4月より京都医療センターに配属となりました井上麻緒と申します。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけしてばかりですが先輩方に指導いただき業務に励んでおります。一日でも早く一人前の薬剤師として貢献できるようになるため頑張りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

氏名： 東谷 素直(ひがしたに すなお)

- 施設名：舞鶴医療センター
- 出身大学：摂南大学
- 座右の銘：飲水思源
- 抱負：4月より舞鶴医療センターに配属となりました東谷素直と申します。先輩の先生方からは薬剤師としての業務だけでなく、コミュニケーションの取り方や社会人の在り方等ご指導頂いております。日々感謝の気持ちを忘れず先輩の先生方のような博識ある薬剤師を目指して頑張っていこうと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 柴 明日香(しば あすか)

- 施設名：南京都病院
- 出身大学：大阪医科薬科大学
- 座右の銘：塵も積もれば山となる
- 抱負：4月から南京都病院に配属となりました柴明日香と申します。至らない点も多々あり、先生方にはご迷惑をおかけしていますが、お忙しい中ご指導頂き日々業務に励んでいます。1日でも早く一人前の薬剤師になり、患者様の気持ちに寄り添える薬剤師になれるよう日々精

進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 松岡 明希(まつおか あき)

- 施設名：大阪医療センター
- 出身大学：大阪医科薬科大学
- 座右の銘：七転び八起き
- 抱負：大阪医科薬科大学出身の松岡明希です。趣味はお笑いを見ることです。早く1人前の薬剤師になり、役に立てるようにします。よろしくお願い致します。

氏名： 吉田 彩莉(よしだ あやり)

- 施設名：大阪医療センター
- 出身大学：大阪医科薬科大学
- 座右の銘：初心忘るべからず
- 抱負：4月より大阪医療センターに配属 となりました吉田彩莉と申します。まだまだ慣れないことが多く、ご迷惑をおかけしますが、患者様やご家族だけでなく、周りの先生方から信頼していただける薬剤師を目指して、日々努力していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

氏名： 佐倉 彩佳音(さくら あかね)

- 施設名：大阪医療センター
- 出身大学：大阪医科薬科大学
- 座右の銘：己の欲せざるところは人に施すことなかれ
- 抱負：4月より大阪医療センターに配属となりました佐倉彩佳音と申します。まだまだ至らない点が多く、先生方にはご迷惑をおかけしておりますが、少しでも早く一人前の薬剤師になれるよう日々精進してまいります。よろしくお願い致します。

氏名： 川西 健太(かわにし けんた)

- 施設名：近畿中央呼吸器センター
- 出身大学：摂南大学
- 座右の銘：不撓不屈
- 抱負：1人1人の患者様に寄り添い、信頼される薬剤師を目指しています。1日も早く即戦力となり貢献できるよう自己研鑽に励みたいです。

氏名： 坂田 峯都紀(さかた みずき)

●施設名：大阪刀根山医療センター

●出身大学：大阪医科薬科大学

●座右の銘：一期一会

●抱負：4月より大阪刀根山医療センターに配属となりました、坂田峯都紀です。まだまだ至らない点が多いですが、先生方の温かいご指導のもと、日々業務に励んでおります。少しでも早く患者様、多職種の皆様から信頼される薬剤師になれるように頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 野村 朋未(のむら ともみ)

●施設名：大阪南医療センター

●出身大学：大阪薬科大学

●座右の銘：一期一会

●抱負：4月より呉医療センターから異動となりました野村朋未です。大阪で働くのは初めてで不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、前施設での経験も活かせるように頑張りたいと思います。1日でも早く皆様のように働けるようになりたいと思っていますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

氏名 七條 彩純(しちじょう あずみ)

●施設名：大阪南医療センター

●出身大学：同志社女子大学

●座右の銘：案ずるより産むがやすし

●抱負：4月より、新たに大阪南医療センターに入職いたしました、七條彩純と申します。まだまだ未熟ではありますが、少しでも早く戦力になれるよう努めたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 井垣 紗恵(いがき さえ)

●施設名：神戸医療センター

●出身大学：武庫川女子大学

●座右の銘：照干一偶

●抱負：4月より神戸医療センターに配属になりました井垣紗恵と申します。まだまだ至らない点もありますが、先生方から様々なことを教えていただき業務に励んでおります。1日でも早く先生方のような一人前の薬剤師になれるよう日々努力していきたいと思っています。今後ともご指



導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 稲田 裕明(いなだ ひろあき)

- 施設名:神戸医療センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:笑われて、笑われて、強くなる
- 抱負:4月より神戸医療センターに配属となりました稲田裕明と申します。慣れていない点も多くご迷惑をおかけしておりますが、日々精進して少しでも早く一人前の薬剤師になりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 江原 濤(えはら みよ)

- 施設名:神戸医療センター
- 出身大学:大阪医科薬科大学
- 座右の銘:継続は力なり
- 抱負:4月より神戸医療センターに配属となりました江原濤と申します。毎日、新しく学ぶことばかりで圧倒されてばかりですが、先生方の温かいご指導のもと、日々業務に励んでおります。先輩の先生方のような薬剤師に近づけるよう、精進してまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 松田 洋佳(まつだ ひろか)

- 施設名:兵庫中央病院
- 出身大学:同志社女子大学
- 座右の銘:蒔かぬ種は生えぬ
- 抱負:4月より、兵庫中央病院に配属となりました、松田洋佳(まつだひろか)と申します。薬剤師としても社会人としても至らない点が多くご迷惑をおかけすることも多いですが、日々の業務で学んだことを吸収し、1日でも早く患者様に寄り添える薬剤師になれるよう精一杯努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 森 伽菜子(もり かなこ)

- 施設名:奈良医療センター
- 出身大学:武庫川女子大学
- 座右の銘:継続は力なり
- 抱負:4月より奈良医療センターに配属となりました森伽菜子と申します。幼少期より書道を続け、師範の資格も所持しています。1年目で分からないことも多く、ご迷惑をおかけしますが

座右の銘でもある『継続は力なり』をモットーに、精進してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 布施 里紗(ふせ りさ)

- 施設名：南和歌山医療センター
- 出身大学：神戸薬科大学
- 座右の銘：一理を学ば一理を行へ
- 抱負：四月より南和歌山医療センターに配属となりました布施里紗と申します。まだまだ至らない点も多いですが、先生方のあたたかいご指導のもと、日々精進しております。患者さまや周りの人から信頼される薬剤師になれるよう、先生方から学んだことを一つ一つしっかりと身につけていきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 廣瀬 沙紀(ひろせ さき)

- 施設名：和歌山病院
- 出身大学：武庫川女子大学
- 座右の銘：千里の道も一歩から
- 抱負：4月より和歌山病院に配属となりました廣瀬沙紀と申します。未熟な点が多いですが、先輩方に温かく指導していただきながら、日々の業務に励んでおります。少しでも早く1人前の薬剤師となり、貢献できるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名： 金澤 勇太(かなざわ ゆうた)

- 施設名：国立循環器病研究センター
- 出身大学：神戸学院大学
- 座右の銘：清く明く直く正しく
- 抱負：4月より国立循環器病研究センターの薬剤師レジデントになりました金澤勇太と申します。1年目で至らない点が多く、先輩の先生方にご指導いただき日々業務に励んでいます。この先、研究活動なども先輩方に支えていただきながら頑張れたらと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

氏名：新保 七奈(じんぼ なな)

- 施設名：国立循環器病研究センター
- 出身大学：東京薬科大学
- 座右の銘：万物に期待せず
- 抱負：この度、国立循環器病研究センターに薬剤師レジデントとして入職しました。まだまだ至らない点が多く、先生方にご迷惑をおかけしてしまうことも多々ありますが、1 日でも早く 1 人前の薬剤師になれるよう日々精進します。

氏名：神田 萌乃夏(じんだ ほのか)

- 施設名：国立循環器病研究センター
- 出身大学：神戸薬科大学
- 座右の銘：やりたいと思えば挑戦すればいい
- 抱負：4 月より国立循環器病研究センターでレジデントとして勤務することになりました、神田 萌乃夏です。今はまだ至らない点が多くあり、先生方にご迷惑をおかけしていますが、しっかり学び早く一人前の薬剤師になれるように日々精進していきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

氏名：速水 雅人(はやみ まさと)

- 施設名：国立循環器病研究センター
- 出身大学：神戸学院大学
- 座右の銘：雨垂れ石を穿つ
- 抱負：4 月より国立循環器病研究センターで薬剤師レジデントとして勤務することになりました速水雅人と申します。新人薬剤師としてまだまだ至らぬ点ばかりで周りの先生方にご迷惑をおかけする事もありますが、レジデントとしての 2 年間で今後の薬剤師人生の大きな財産とできるようにしたいと思っていますのでぜひご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

## 2024 年度 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 参加報告

南京都病院 大倉 あすか

2024 年 3 月 9 日(土)に開催された 2024 年度近畿国立病院薬剤師会学術大会について報告させていただきます。

今回は新たな試みとして Web(V-expo)を用いた仮想空間でのポスター発表を行いました。若手の先生方だけではなく大阪で行われる第 78 回国立病院総合医学会の発表に向けた場として計 15 名の先生方が口頭発表され、最後に本田先生から表彰と講評をいただきました。

V-expo は講演・歓談・展示の 3 つのエリアで構成されており、自分好みのアバターを選択して自由に会場移動することが可能でした。講演エリアではポスター発表、展示エリアではポスターの閲覧と質疑応答が行われました。初めてアバターを操作したときは難しいと感じましたが、練習するとゲーム感覚で楽しく操作することが出来ました。また、普通のビデオミーティングに比べて実際に会場にいるような臨場感を味わえました。

私は「当院における退院時薬剤情報連携加算の取り組み」について発表を行いました。退院時薬剤情報連携加算を取得するには時間を要しますが、保険薬局との連携を図ることで退院後も患者さんをサポート出来る大変意義のある業務だと今回の発表を通して再認識しました。今後も薬薬連携に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

私が今回学術大会に参加して良かったところは、他施設の取り組みを知ることによって日常業務の振り返りを行えたことです。特に質疑応答では他施設の先生方のお話を聞け、今後の業務の参考になりました。質疑応答に来ていただいた先生方ありがとうございました。

事前練習の際は通信不良のためスライドを上手に操作することが出来ませんでしたが、運営の先生方のご配慮により当日スムーズに発表することが出来ました。また、今回の発表のために多くの先生方にご指導ご鞭撻をいただきました。大会の運営に携わった先生方、また、発表にご協力下さった先生方には大変感謝申し上げます。次回の発表に向けて頑張ります。また、第 78 回国立病院総合医学会の参加も楽しみにしております。

## 2024 年度 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 優秀賞受賞報告

近畿中央呼吸器センター 山口 絢香

令和 6 年 3 月 9 日に開催された近畿国立病院薬剤師会学術大会にて、「アミカシン硫酸塩吸入用製剤の使用状況と薬剤師の関わりについて」のテーマで発表しました。この度、優秀賞を受賞することができたのでご報告させていただきます。

昨年度の 4 月に近畿中央呼吸器センターに入職し、約 1 年が経過しました。入職後は様々な呼吸器疾患についてかかわることが多く、大学では学ばなかったことがあるため、日々の自己研鑽の重要性を感じています。今回発表させていただいたアミカシン硫酸塩吸入用製剤についても入職するまでは聞いたことがない薬剤でした。従来の点滴投与とは異なり、通院せずに自宅で治療ができる利点は魅力的に思いましたが、吸入手技や洗浄方法が複雑であるため、使用開始時の手技の理解が必要です。当院では現在、入院にて導入を行っており患者さんの手技の習得・理解に貢献できるよう努めています。また新たな取り組みとして 2024 年 4 月から外来導入が始まる予定となっています。

これまでは退院後の継続状況について調べることがなかったため、約半数以上の患者様に副作用がみられ、さらにその約半数が隔日投与に減薬となっていることを知りませんでした。副作用としては臨床試験と同様に発声障害が最も多く、そのことが原因で中止となっている症例もありました。これらのことから発声障害などの副作用を少しでも軽減し、治療継続に貢献するため、導入時は副作用予防の重要性を伝えていきたいと思います。

入職後初めての発表のため、データの収集方法やスライドの作成方法などわからないことがたくさんありましたが、近畿中央呼吸器センター薬剤部の先生方のご指導、ご協力により発表を終えることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



ラミラ®ネブライザシステム と ハンドセットの構成（アリケイス.jp より）



## 2024 年度 近畿国立病院薬剤師会 学術大会 特別賞受賞報告

神戸医療センター 中村 優里

令和 6 年 3 月 9 日に開催された第 19 回近畿国立病院薬剤師会学術大会に参加し、「当院の無痛分娩導入に向けての薬剤部の取り組み」について発表いたしました。光栄なことに特別賞をいただきましたのでご報告いたします。

当院では昨年 9 月から計画的無痛分娩の提供が開始されることとなり、薬剤部でも安全かつスムーズに無痛分娩を提供できるよう準備を行ってきました。学術大会発表時はまだ症例がありませんでしたが、現在数件の症例を得ることができ、イレギュラー時の対応等、問題点も出てきております。今後は薬剤師としてどのように対応できるか考え、より良い運用を医師や看護師等と連携し改善していきたいと思っております。

仮想空間 (V-expo) を使用した発表は、近畿各地の先生方と同じ場所にいるかのようにコミュニケーションが取れ、声も実際に隣にいるときのように聞こえ臨場感がありました。アバターの動きや外見に個性があり、楽しく参加することができました。このような発表には慣れていないため、発表の数日前から緊張していましたが、事前に操作などの練習の場を設けていただけたことやアバターでの発表であったことで、緊張もすこしやわらぎ、落ち着いて発表することができたと思います。

ほかの先生方の発表内容からは神戸にはない様々な特色や取り組みについて学ぶことができ、とても有意義な時間となりました。

最後になりますが、今回このような賞をいただけたのは、共同演者の先生方をはじめ、神戸医療センター薬剤部の先生方や、薬剤師会運営の先生方のご協力、ご指導のおかげであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



## 能登半島沖地震医療班災害派遣について

東近江総合医療センター 澤村 忠輝

令和6年に発災した能登半島沖地震に関して、NHO 医療班の一員として被災地で活動を行いましたので報告させていただきます。

今回の災害で被災された方々に対し、お見舞い申し上げます。

当院の医療班派遣は2度に渡り、私は1次派遣として令和6年1月10日より5日間、石川県輪島市を拠点に活動を行いました。日程に移動日があったため実際に被災地で活動できたのは3日間となりました。輪島市役所に設置された災害対策本部を拠点に、周辺地域の避難所スクリーニングや個々の医療ニーズに応じた診療活動が主たるものとなり、薬剤師としての活動は、診察前のお薬手帳の確認や災害処方箋に基づく調剤、服薬指導等を実施しました。災害処方箋や薬袋は全て手書き対応でしたので、医師の処方箋記載の補助や薬袋への用法用量の記載など、普段行わないアナログな作業に想定以上の時間を要しました。また、携行医薬品の管理はもちろんのこと、調剤や服薬指導なども行う必要があったため、限られた時間内での活動は苦難することも少なくありませんでした。しかし、普段病院で行っている業務が被災地でも十分生かせることを実感できましたし、被災地で医療班として薬剤師の担う役割と必要性を肌で感じることができました。

薬剤師としての活動以外にも避難所状況の記録シート(ラピッドアセスメントシート)作成や診察前のバイタル測定など様々な活動も行い、被災地支援に携わり貢献できたことは大きな経験となったと感じています。また、活動中にふと思ったことがあり最近はあまり聞かなくなりましたが、薬剤師がフィジカルアセスメントのスキルを持っておくことは災害時医療において重要であると感じました。

最後に、今回の派遣で何より感じたのは災害派遣で各地から集結した医療従事者、行政、自衛隊の熱量の高さです。誰もが被災地のために力を尽くしている姿は目を見張るものがありました。病院での通常業務は慣れもあり漫然となることもありますが、自分自身の医療従事者としての気持ちを新たに日々の業務に励んでいこうと思います。



## 令和 6 年能登半島地震 NHO 医療班活動に参加して

舞鶴医療センター 田村 憲昭

令和 6 年 1 月 1 日に能登半島地震が発生し、石川県から国立病院機構に派遣要請がありました。令和 6 年 1 月 16 日から 20 日までの 5 日間、医療班として舞鶴医療センターより 1 チーム(医師 1 名、看護師 2 名、薬剤師 1 名、事務職員 1 名)を結成し、その活動に参加しました。



(写真: 出陣式の様子)

出動にあたり薬剤部では、先発医療班からの情報より、災害医療薬品の選定を実施しました。事前情報では感染症(インフルエンザ・COVID-19)の発生があったためそれらに対応する医薬品をはじめとした医療班準備物品を院内災害医療会議にて医師と協議し準備しました。また現地ではライフラインが使えないことを想定し、水や非常食を持参して災害活動に備えました。

出動初日には出陣式が行なわれ、院長より任務や心得など激励をいただきました。舞鶴から金沢までの移動は自施設の車で渋滞はなく約 4 時間で災害対策本部のある金沢医療センターに到着しました。その場で先行の医療班の活動状況、現地の状況、輪島市内の活動内容、宿泊について等打ち合わせを行いました。

2 日目の 7:30 に KKR 金沢より輪島へ出発し、災害により片道通行箇所があり、渋滞もあったため、輪島市役所の災害対策本部に 12:30 に到着しました。そこで活動内容について具体的に指示を受けて災害活動に従事しました。

活動は、輪島高校、どこら処(施設名)、おおぞら農協で行いました。活動内容は避難所を回り現場の生活環境や避難者の体調確認(必要時には診察や処方)を実施しました。薬剤師は医師の作成した災害処方せんと呼ばれる薬歴を記載するという形式の処方箋を用い、自

施設から持参した医薬品より被災者の方に調剤を行い交付しました。自施設から持参した医薬品がない場合は災害処方せんのみ作成して、輪島市民病院かモバイルファーマシーで現地応援薬剤師会の方が必要な薬を取りに行き、該当患者様に薬をお渡しする対応をとりました。輪島高校では 17 名診察し、有熱者に対して 8 名の方に解熱薬や去痰薬といった薬剤を交付しました。その他2か所の避難所を巡回し、生活・医療状況を確認しました。

3 日目は 2 日目に引き続き、9:00 より輪島高校を訪問し、17 名診察して、前日と同様の発熱、痰といった病状に対して 2 名に昨日と同様の処方があり調剤を行いました。その他、5か所の避難所を 18:30 まで巡回し、医療ニーズの確認を実施いたしました。医療ニーズはなく、避難所の生活状況の確認業務が主な内容でした。ただ、過酷な道路状況により到達困難な避難所もあり、さらに余震が続く中での活動にも限界も感じました。

4 日目は 8:30 より活動を開始し、おおぞら葬祭天翔河原田及び横地町ふれあいセンターを巡回し、3 名診察して、解熱薬や去痰薬といった処方がありました。輪島市役所の本部に 11:00 到着し、活動報告をしました。16:30 ごろ金沢医療センターの本部に到着し、輪島市での活動内容を報告し、災害活動の任務を終えました。

活動期間のライフラインについてですが輪島市民病院で寝泊まりをしていました。電気の供給はあったため、電気ポットなどで水を温めることができ、持参した水を利用してカップラーメン、カレーを食べていました。水の供給がなく、トイレは野外の仮設を利用し、お風呂は入れる状況にありませんでした。睡眠に関しては病院のベッドで寝袋を使用していました。夜中にも余震があり、眠るのも大変な状況でした。今回の活動を通じて痛感したこととして 1 人は勿論のこと、1 チームの医療班だけでできることは極めて限られているという事実。指示体制を確立して各チームが活動することが必要と感じました。今後の課題は DMAT 薬剤師以外にも災害が起きた時は NHO の施設は災害活動に参加することが予測されることから、災害処方せんの対応方法や LINE の機能を利用した情報共有の方法を周知することが必要と思いました。今後に備えるため、NHO での災害薬剤師研修を学び災害医療で対応できる薬剤師を育成の重要性を感じました。近い将来、南海トラフ地震など大規模な災害が起きる可能性もあるので自施設でも災害に備える必要があり、今回の活動により学ぶべきことも多いと感じました。この度、令和 6 年能登半島地震に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、1 日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。



医療班活動状況



## 災害処方箋形式

[illegible]



## 災害医療に関する資格・認定について

姫路医療センター 飯沼 公英

昨今、国内外問わずあらゆる地域で災害が発生しています。地震、洪水、台風などの自然災害、事故やテロなどの人為災害があり、さまざまな形で我々の生活に介入し、被害をもたらします。災害が発生すると、当たり前のことですが命を守るための迅速な対応が求められます。災害医療は、被災地での医療活動を指し、怪我や病気の治療だけでなく、生命の維持や被災者の心理的なケアまでを行います。この分野に関わったきっかけと私の今までの経験について簡単ですが紹介させていただきます。

大学卒業後、最初の配属先が現在、勤務している姫路医療センターでした。当時は未熟な薬剤師で仕事を覚えることで精一杯の毎日で、将来の目標をたてる余裕もありませんでした。偶然にも日本 DMAT 隊員の資格を持った先輩薬剤師が在籍しており、話を聞いている内に徐々に興味を持ち、薦めもあり、日本 DMAT 隊員を目指すこととなりました。

日本 DMAT 隊員になるためには

- ① 災害拠点病院または DMAT 指定医療機関の職員であること
  - ② 日本 DMAT 隊員養成研修を受講し、筆記と実技試験に合格にすること
- の2つの条件があります。

隊員資格を取得した後、熊本地震が発生し、初めての派遣となりました。当時、研修を受けたばかりでありながら、DMAT の役割を完全に理解しているわけではありませんでした。そのため、帰還後は自分が被災者の方々に対して何もできなかったのではないかという自問自答の日々を過ごしていました。このまま不完全燃焼で終わるのは悔しいと感じ、それがきっかけで災害医療の道に進むことを決意しました。その後、ファシリテーターとして再度養成研修に参加したり、災害医療に関連する研修会に積極的に参加したりすることで知識を深めていきました。今回の能登半島地震では、DMAT として2回の派遣、合計で10日間にわたる活動に従事しました。避難所での診療支援や薬剤師業務を担当する一方で、他の医療支援チームとの情報共有や業務調整にも率先して取り組みました。その活動内容は多岐にわたり、現場での対応からチーム全体の連携まで、幅広く行っていました。災害対応において重要な価値観は「全ては被災者のために All for victim」です。DMAT として派遣された際は薬剤師として臨床的知見を求められることはさほどありません。むしろ医療従事者、業務調整員として求められることがほとんどです。あらゆる人的、物的資源が制限されている災害時には臨機応変かつ柔軟な対応が求められるため、スペシャリストよりもジェネラリストであることが望まれます。また初対面のスタッフと共に活動する事も多いので、コミュニケーションを取りながらミッションを

遂行することは非常に重要です。

現在では、その経験を活かし、自身のスキル向上はもちろんのこと、地域の医療機関向けの災害研修の講師や大学での講義を担当する機会も度々あります。また、結果的に日本災害医学会が認定する災害医療認定薬剤師の資格取得にもつながりました。

最後に、DMAT や災害医療は実臨床に直結していないため、その活動を想像することは難しいかもしれません。しかし、日々の業務を通じて経験、知識を培っていくことにより、結果的にDMAT や災害医療に役立っています。ご興味をお持ちの先生方は、ぜひ一度この世界の扉を開いてみてはいかがでしょうか。



令和2年7月豪雨災害(熊本県人吉市)  
別のDMATチームと協議している様子

能登半島地震(石川県珠洲市)  
保健師チームと同行して  
避難所を巡回して  
診療支援を行っている様子



## 趣味のページ

近畿中央呼吸器センター 多方 実彩

和歌山病院の仙石先生より引き継ぎました、近畿中央呼吸器センターの多方です。仙石先生とは、仙石先生の前を担当した多田先生も含め、内定式で同じグループで出会い、就職してから時々ご飯に行ったりさせていただいております。

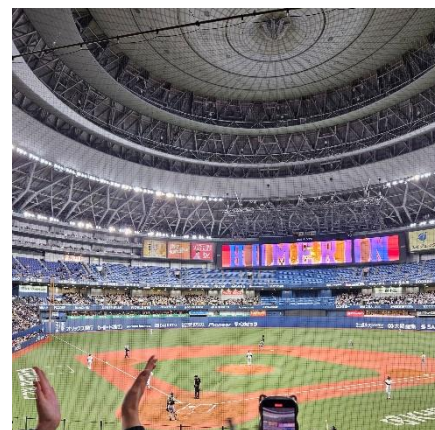
さて、私の趣味は、少し季節を遡ることとなりますが、スノーボードをすることです。毎年冬になると、夜な夜なバスに乗り込み、山に向かう生活をしております。友人からは、下りて登ってを繰り返して何が面白いのかとよく言われますが、私も正直分かりません(笑)。ですが、練習している技が奇跡的に出来るようになったときの達成感と、新雪の上を走る浮遊感の爽快感は格別なものがあり、その瞬間を味わうために今まで続けてきたのだと思います。最近では、グルメに力をいれているスキー場も多く、ジャム勝山のジャム勝カレーや、ダイナランドのハンバーガー、高鷲スノーパークの揚げたて唐揚げは行く度に食べるほど、めちゃくちゃおすすめです。

スノーボードと同じくらい、野球観戦も私の大好きなことの1つです。父の影響で、生まれた時より生粋の阪神ファンで、大学時代は甲子園球場に学校が近かったこともあり、よく応援に通っておりました。打てない、守れない弱い時代を見てきましたので、今年の優勝は未だに夢だったのではないかと(現在の成績も相成り…)と思うことがあります(笑)。野球観戦の魅力は、勝ち負けだけではなく、球場グルメやファンの一体感など沢山ありますが、特に阪神ファンは、ファン同士が仲良く、球場で隣になれば、みんな仲良くなってしまうのも醍醐味の1つだと思います。社会人になり、なかなか応援に行ける機会も減りましたが、今年は二連覇に向け、より一層応援に励む所存です。



沢山、私の趣味について語らせて頂き、ありがとうございました。最後に、このような場で文章を書くことは今後ないと思いますので、スノーボードや野球に興味のおありの先生は多方までご連絡お待ちしております。(当院では中々、仲間が見つからないので…笑)

次は、学生実習中に大変お世話になった、大阪医療センターの檜本先生にお願いしたいと思います。



## 編集後記

♪各施設新体制となり1ヶ月経ちましたが、まだまだ慌ただしい日々を過ごされているかと思います。日中汗ばむくらいに暖かい日も増えてきているため、十分な睡眠・休養を取り、くれぐれもお身体にはご注意ください。

♪プロ野球も開幕し日々熱い試合が展開されています。今年も球場で観戦するのを楽しみにしています。野球が好きな先生はぜひともお声掛けください。

♪ご多忙の中ご寄稿いただきありがとうございました。今号では新採用の先生方に自己紹介をご寄稿頂いています。大変充実した内容となりますので、どうぞ最後までご熟読ください。

(T.N.)

近畿国立病院薬剤師会会誌

第七十八号 令和六年五月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

神戸市須磨区西落合 3-1-1

(独立行政法人国立病院機構神戸医療センター薬剤部内)

発行人 会長 本田 富得(神戸医療)

編集 広報担当理事 中野 一也(循環器病研究)

広報委員 佐々木 祐太(大阪南医療)

野田 拓誠(大阪医療)

正木 美有(循環器病研究)